



## 労働基準監督官（監督部署）

三井 智 彰（令和5年度任官）

### 志望動機

私は、大学時代に学んだ「労働法」を活かして、誰もが働きやすい職場環境を作ろうという思いを持ち、また、専門性が高く、自分自身のスキルアップを図ることができると考え、労働基準監督官を志望しました。

### 広がる知見

現在、私は、各種届出の受理対応、相談対応を行うほか、上司の監督指導に同行しながら経験を積んでいます。

上司の監督指導に同行し、様々な製造工場などに赴いていますが、このような製造工場の監督指導では、社会的な知見を深める楽しさがあります。監督指導では、一般の方が入ることができない場所まで立ち入って、安全衛生に関する調査を行います。製造工場で使用している機械は、サイズ・スピードともに桁違いの大きさ・速さで、驚きの連続です。また、製造過程で「こんな処理があるのか」と意外に思うこともあります。監督指導における昼休憩の際には、地元の名店に赴き、上司の方と楽しく、おいしい昼食をとることも楽しさの一つです。

### 職場の環境

日々の業務で、分からない部分も多くありますが、上司の丁寧な説明もあり、安心して業務が行うことができています。山梨労働局なら、仕事も私生活も、楽しく充実した日々が送れるはず。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

## 先輩労働基準監督官からのメッセージ

### 安全衛生の仕事

安全衛生課では、工作中的病気や怪我を防止するため、企業に対する指導や関係法令等の周知を行い、労働災害が発生してしまった場合は、同じような労働災害が起きないように、必要な調査を行った上で、再発防止に関する指導を行っています。

*message* 1

### 行政指導・自分の成長

再発防止の指導は、相手に伝える難しさがあります。指導する企業に、労働基準監督署の指導の意図が伝わり、しっかりとした再発防止対策を講じてもらうためには、法令はもちろんのこと、参考となるガイドラインを調べ、指導文書の表現方法もしっかりと考えなければなりません。

幅広い知識の必要性を日々感じますが、上司や先輩方の助言もあり、知識が増え、自分自身の成長につながっていくことを実感しています。

山梨県は、自然が豊かである一方、都心が近く、休日のリフレッシュの選択肢が多いところも魅力です。

山梨労働局で、皆様と一緒に働けることを楽しみにしています。

## 労働基準監督官（安全衛生部署）

糟谷 まり（令和元年度任官）







補償係長（労災部署）

嵯峨 久恵（平成24年度任官）

## 山梨を選択した理由

私は、秋田県の出身ですが、山梨労働局管下の勤務官署が、労働局と3つの労働基準監督署であり、いずれの勤務官署も人事異動によって、転居することは不要で、通勤可能な範囲にあることから、山梨労働局での勤務を希望して現在に至っています。

## 労災補償の仕事・仲間の協力

現在、任官12年目ですが、監督業務よりも労災補償業務の経験の方が長くなりました。

労災補償は、労災保険給付の対象として支給できるか否かを決定することが主たる業務となります。必要に応じて、実地調査を行い、労働災害の発生状況などについて、被災労働者のほか、事業場関係者から聴取を行い、医師へ医学的意見を照会するなどした上で、認定基準に基づき、傷病が業務又は通勤に起因したものの有無を判断しています。

時には、労働災害の関係者の申立て内容が食い違ったり、医師から回答があった医学的意見をどのように評価すべきか悩んだりすることもあります。経験豊富で優しい上司・先輩からの的確なアドバイスを受けることができます。「職場の皆で、問題を解決していこう」という職場意識が醸成されており、一人で悩みを抱え込むことなく仕事ができます。

このような山梨労働局で、皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 先輩労働基準監督官からのメッセージ

### 働き方改革の説明

労働基準監督官の仕事は、会社を臨検し、労働基準関係法令に関する指導を行うことが主な仕事ですが、このほかにも、その時々の方改正の内容を、会社に周知する「集団指導（説明会）」の業務があります。

現在、私は、働き方改革の周知を図るため、集団指導（説明会）の企画・立案・運営に取り組んでいます。無事に、集団指導（説明会）を開催できるか不安になることもありますが、先輩、同僚、後輩、職場全員と協力しながら仕事を進めることができています。

message 2

### 私の育児休業

「働き方改革」の観点からもう一つ。

私は令和4年度の1年間、育児休業を取得しました。妻の妊娠が分かったときから、1年間の育休を取得しようと心に決めていたのですが、職場の反応がどうかと不安がありました。不安の中、署長に1年の育休の希望を申し出ましたが、「いいことだね」と、即答の返事をもらえ、仕事の引継ぎもスムーズに行き、1年間、安心して育児に専念することができました。

安心して働くことができる山梨労働局で、皆様をお待ちしています。

主任監督官（監督部署）

山本 潤（平成24年度任官）





# 地方労働基準監察監督官 宇 治 誠 (平成7年度任官)



## 労働基準監督官

労働基準監督官は、国家公務員ですが、勤務先が、原則的に、希望する都道府県内に限られるという珍しい処遇の専門職です。

## 全国の仲間との出会い

一方で、任官後、出会う仲間は、同じ山梨県内の労働基準監督官に限られません。任官1年目には、全国の同期の労働基準監督官が労働大学校（埼玉県朝霞市）に集まり、研修を受けます。その後も、労働大学校で定期的な研修があり、全国の労働局に、良き仲間を作ることができます。

## 山梨労働局

山梨県は人口が約80万人という小さな県ですが、富士山と八ヶ岳に挟まれた自然豊かな土地柄で、特に、果物の生産は多くのが全国1位であることは、皆様もご存知のとおりだと思います。

東京までも、JR中央本線や中央自動車道の一本でつながっており、都心まで気軽に行くことができる環境でもあります。

また、山梨労働局は、庁舎が甲府駅前（徒歩2分）の立地にあるほか、山梨県下の労働基準監督署は、たいがいの居住地から、転居なしで通勤することができるという特徴もあります。実際に、東京都や長野県から通勤している職員もいます。

山梨労働局の労働基準監督官の半数以上は、山梨県外出身者であり、出身地は、北海道から沖縄県まで様々です。山梨県外出身者が山梨労働局に定着しているのは、「住みやすさ」と「働きやすさ」の両面を備えているからにほかなりません。

現在、山梨労働局で働く労働基準監督官の39%は平成生まれとなっています。

若くて、親しみやすい先輩・上司が温かく皆様をお迎えします。

山梨労働局で、国民の皆様の労働環境の向上のため、一緒に働きましょう。

## 山梨労働局

## 地方労働基準監察監督官からのメッセージ

*message* 3